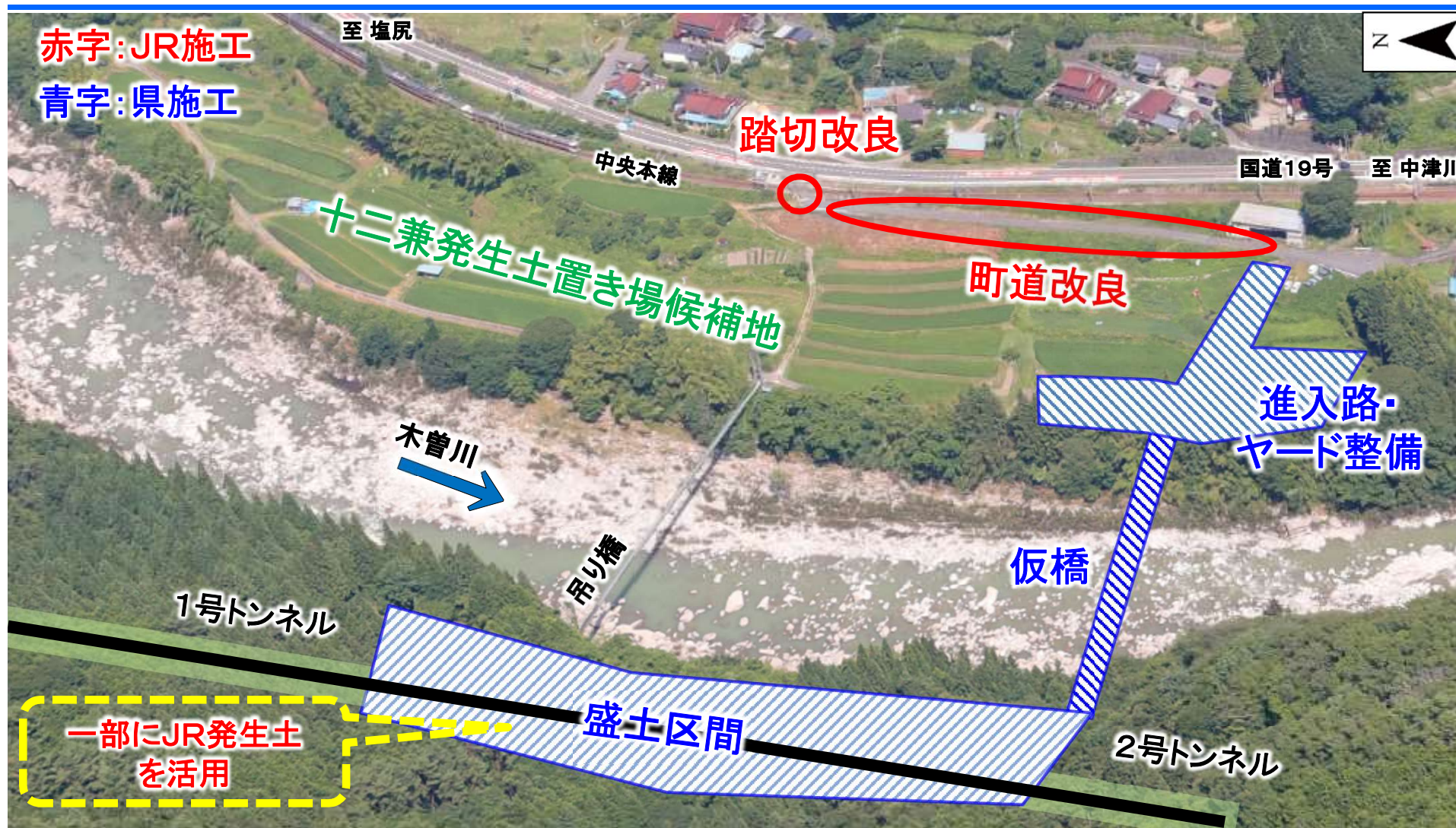


南木曾町リニア中央新幹線 対策協議会

第十五仲仙道踏切、町道十二兼線改良工事
及び十二兼線改良に伴う協定締結について

東海旅客鉄道株式会社

第十五仲仙道踏切、町道十二兼線改良について



- ◆ JR東海は踏切・町道改良を実施し、長野県は木曾川左岸から仮橋を架け、右岸道路の工事を行います。右岸道路の盛土区間の一部にJR発生土を活用する計画です。
- ◆ 十二兼発生土置き場候補地は、現在地権者の皆様と協議中であり、出来る限りの平場確保、農道・水路の使い勝手の改善ができるよう、計画の再検討を行っています。

第十五仲仙道踏切、町道十二兼線改良について

リニア工事と右岸道路工事の関係性

・十二兼発生土置き場候補地に関する協議・設計と並行して、右岸道路工事への工事用進入路について長野県とJRが調整する中で、右岸道路の盛土区間の一部にリニア発生土を活用することを検討してきました。

踏切・町道改良の必要性

・上記に伴い、リニア発生土運搬車両や右岸道路の工事用車両が通行することとなり、十二兼集落内の負荷軽減のため、踏切・町道十二兼線の改良を行うものです。

⇒ 右岸道路工事の仮橋工事を始める前までにJRが踏切・町道改良を行い、右岸道路の早期実現のために協力して進めて参ります。

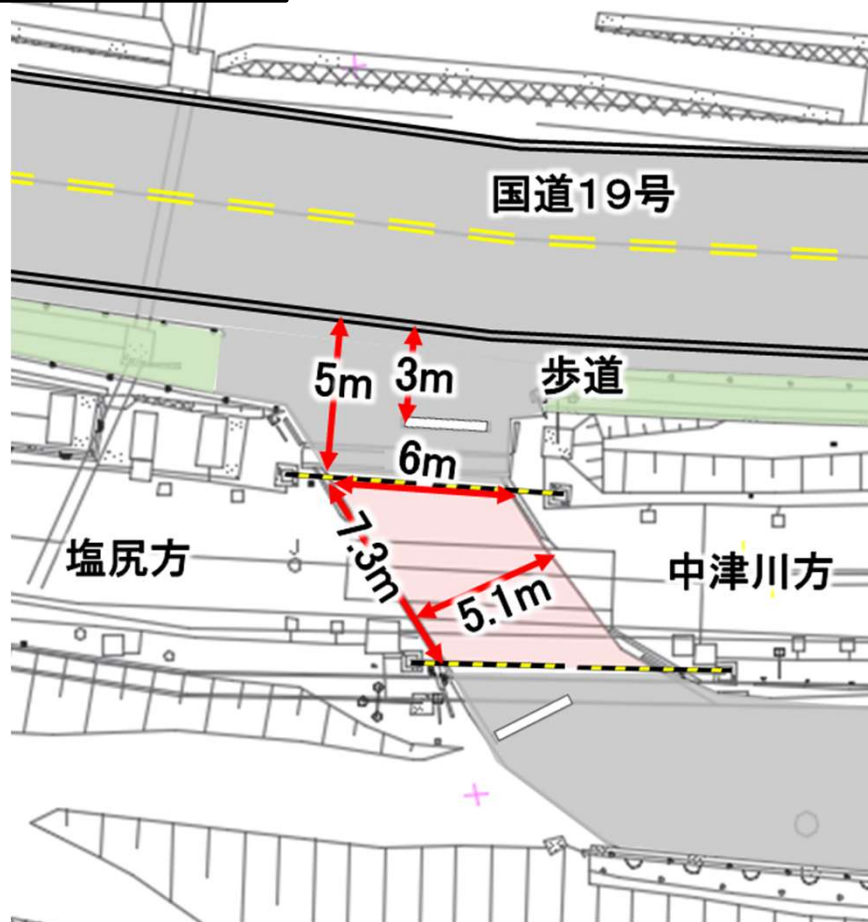
	2021年度(令和3年度)				2022年度(令和4年度)				2023年度(令和5年度)			
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
JR事業 踏切・町道 改良工事					踏切改良工事							
					町道改良工事							
長野県事業 右岸道路工事							準備工・仮橋架設					
									造成工事			
										▲発生土受入れ開始		

※右岸道路トンネル掘削はR5年度末以降を予定
 ※工程は現時点の予定です

第十五仲仙道踏切、町道十二兼線改良について

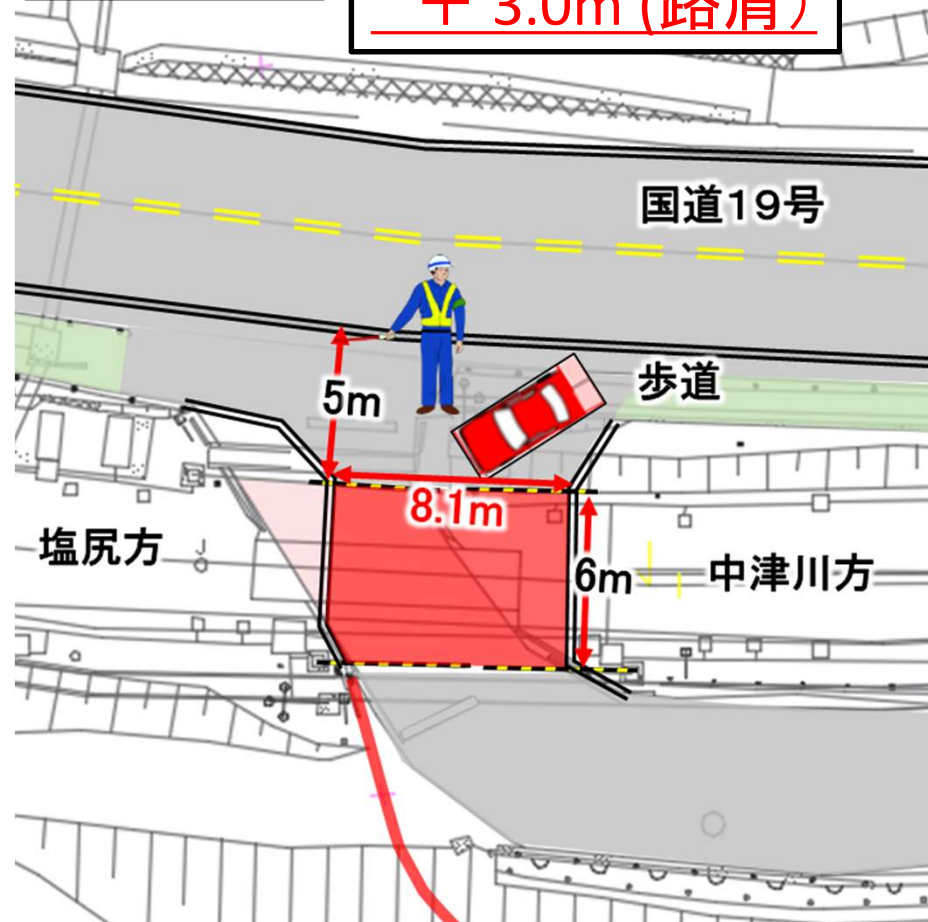
改良前

踏切幅員 5.1m



改良後

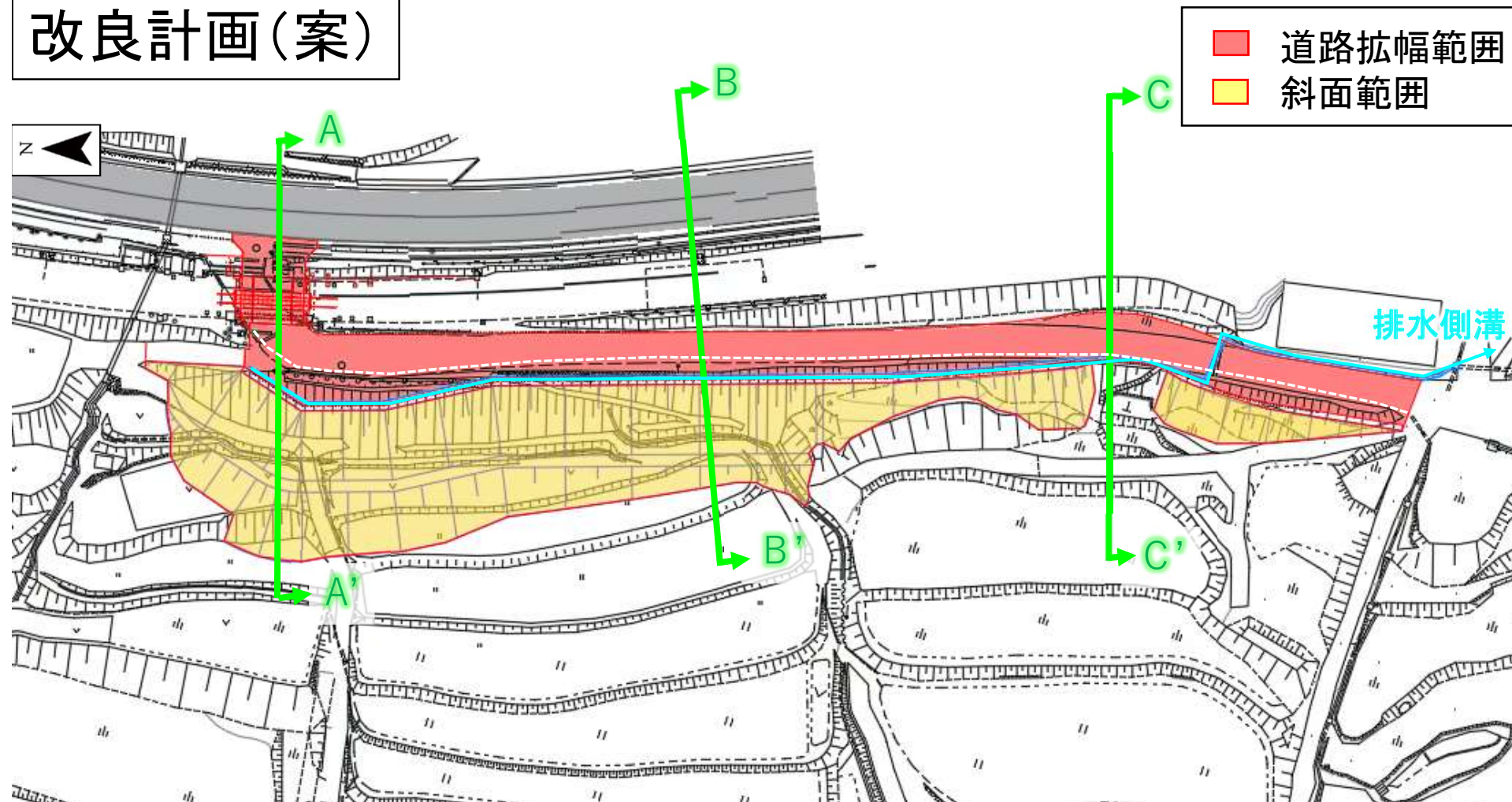
踏切幅員 5.1m
+ 3.0m (路肩)



- ◆ 工事用車両などがより安全に通行できるよう、踏切と線路の交差角度を斜角から直角に変更します。
- ◆ 地元の皆様の通行においても、より安全で使い勝手が良い踏切となります。

第十五仲仙道踏切、町道十二兼線改良について

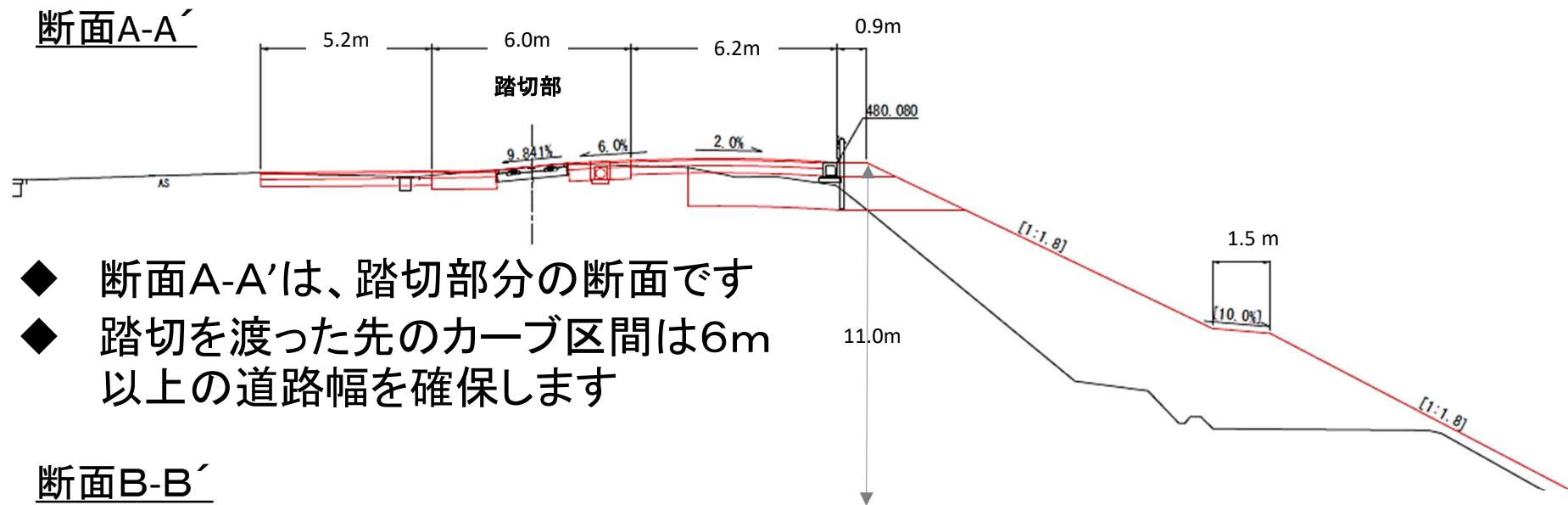
改良計画(案)



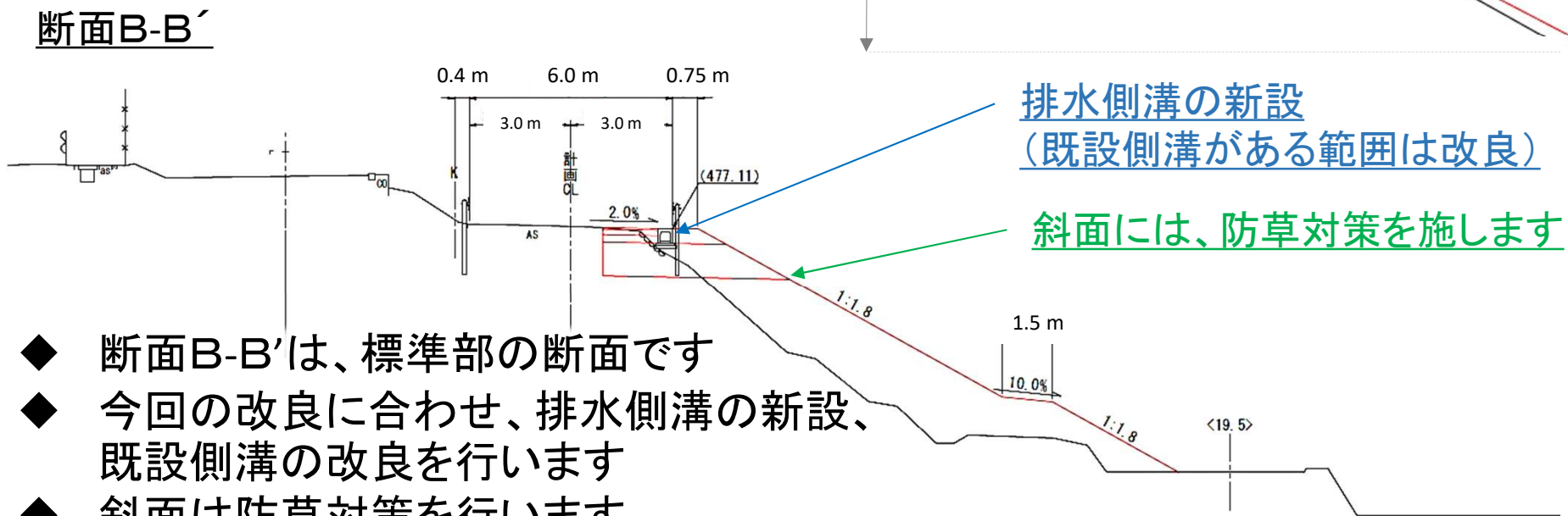
- ◆ 現状4m程度の道路幅を、標準部で6mに拡幅する計画です。黄色着色範囲は斜面となります。
- ◆ これにより、工事用車両と一般車両のすれ違いが可能となります。
- ◆ 次ページ以降、上図A、B、Cの箇所における断面図を示します。

第十五仲仙道踏切、町道十二兼線改良について

計画断面図(案)



- ◆ 断面A-A'は、踏切部分の断面です
- ◆ 踏切を渡った先のカーブ区間は6m以上の道路幅を確保します



排水側溝の新設
(既設側溝がある範囲は改良)

斜面には、防草対策を施します

- ◆ 断面B-B'は、標準部の断面です
- ◆ 今回の改良に合わせ、排水側溝の新設、既設側溝の改良を行います
- ◆ 斜面は防草対策を行います

